

アルハンブラの思い出

F.タレガ

市川亮平クラシックギター教室レッスン用教材

2pos

P a m i P a m i p a m i p a m i P a m i P a m i

1pos *ami ami ami ami ami ami*

3

5pos 8pos 5pos

6 3pos 5pos 8pos

9 C.8 7pos 8pos 9pos C.9 *p a m 3*

12 C.9 7pos

3弦ミを弾くとき、3を離して良い

15 3 5pos 2pos

18 C.1 3

21 2pos C.2

24 10pos 2pos

27 C.2

30 C.4

33 2pos C.2

To Coda

36 1. C.2 2.C.2 1pos 3pos

D.C. al Coda

38 C.2

市川亮平クラシックギター教室「アルハンブラの思い出」練習方法

1. p と a のみでゆっくり練習(スラーの箇所は am の順で m も使う)

練習方法1説明動画

p は回転とゴリラを使い表情をつける。

a は半音階右手第 4 段階のタッチで弾く。

a を弦に置くときに絶対に指を伸ばさない。

スラーする時は左指を横に開かない。

左手の運指を覚えながら肩の力を抜くポイントを見つけておく。

低音を音名で歌う。



2. pami の順で 1 ページ目だけ通常の弾き方をゆっくり練習する。

練習方法2-4説明動画

p は回転とゴリラを使い表情をつける。

ami は半音階右手第 4 段階のタッチで弾く。

ami を弦に置くときに絶対に指を伸ばさない。

半音階右手第 4 段階のタッチが自由に使える人はテンポ 30、8 分音符の設定で練習。

まだ慣れていない方はテンポ 30、4 分音符の設定で練習。

通しで最後まで弾かず、練習するなら長くて 1 ページ目最後まで。

この段階では、それ以上は集中力がもたず、トレモロの練習として成立しないと思います。

4 小節でも 2 小節でも良いので、テンポ 30、16 分音符の設定で弾けるようになったら先に進む。



3. 最後まで練習方法 2 の条件で弾ける様になったら、少しずつテンポを上げていく。

テンポの設定の目安は ami のタッチが維持でき、脱力して弾ける事。

それができたら 3 ずつ速さを上げていく。

この時に全体での表情を細かく決めていく。

4. 目標の速さまで到達したら完成です。

練習方法 1,2 が最も重要で難しいです。

丁寧に長い時間をかけ、石を磨いて珠にする気持ちで取り組んでみてください。

2016 年 7 月 4 日

市川亮平